

I-1 平成31年度 山形市立鈴川小学校の教育

《 学校教育目標 》

「 豊かな心を持ち、自ら学ぶ意欲と実践力のある子どもを育てる 」

めざす子ども像

- 笑顔いっぱい子ども
- 豊かな心をもつ子ども
 - 進んで学ぶ子ども
 - たくましい子ども

めざす学校像

- 学びが、通わせが、働きの学校
- 学ぶ喜びや友達と関わる楽しさが味わえる学校
 - 保護者や地域が信頼し、誇りに思う学校
 - 教える喜びや仕事の達成感、充実感が得られる学校

めざす教師(職員)像

- 学び続ける教師
- 児童理解に徹する教師
 - 率先垂範する教師
 - 授業(業務)改善に取り組む教師

学習指導

<進んで学ぶ子どもの育成>

- 算数の研究推進
- 探究的な学習の推進
- UDを意識した授業づくり
- 基礎的基本的な学力の定着
- NRT、全国学力学習状況調査、県学力テスト等の分析と活用
- 教育活動全体を通じた道徳教育の充実
- 読書活動の充実
- ICT教育の充実

生徒(生活)指導

<豊かな心をもつ子ども育成>

- 安全・安心な学級・学校づくり
- 生徒指導の3機能を生かした指導の充実
- いじめの未然防止と早期発見、早期対応
- 規律ある態度、規範意識の育成
- 校内外の生活指導の充実
- 基本的生活習慣の確立(あいさつ、言葉づかい)
- 特別支援教育の推進
- 子どもに関する情報の全職員共有化

いのち・健康教育

<たくましい子どもの育成>

- 「いのち」の教育の推進
毎月25日「いのちの日」の継続
- 教科体育の充実
- 基本的生活習慣の確立(早寝、早起き、朝ごはん)
- 生活リズムの確立(カードの活用) 保護者との連携

家庭・地域との連携

- 各種便りとホームページの充実
- 授業参観、学級懇談会等の充実
- 地域の教育力・資源の活用
- 家庭との連携(良さを伝え、問題を早期に解決)
- 見守り活動の継続(PTA・地域ボランティア)

特色ある活動・特別活動

- 山家田植踊りの伝承(第55代)
- 吹奏楽部活動
- 読み聞かせボランティア活動
- 交流教育の推進
- 地域産業・文化を活かした生活科・総合学習の推進
- 異学年交流、縦割り班活動、体験活動

本年度の経営の重点

教職員評価(業績)カリ・マネに対応

- 算教科を窓口、探究型学習を推進するとともに、学力向上を図るための授業改善に努める。
子どもたちの学力向上を目指すためのカリキュラム・マネジメントの創造 学習指導
- 「わくわく登校、いきいき学習、にこにこ下校」不登校を生まない学校づくりを推進する。
確かな児童理解と温かい学級経営、しっかりとした担任力(学習指導力、生徒指導力、特別支援教育力)に支えられた学級、学年、学校づくり 生徒指導
- ベテラン教員の教育的財産を中堅教員、若手教員へ継承していく。
研修の場の設定と効率的なOJTモデルの開発。校務分掌の効率化及び働き方改革の推進 学校運営
- 「いのちの教育」の充実を図る。
生徒指導の3機能の充実による「自尊感情」の育成。異学年交流、交流教育、縦割り班活動、体験活動等の充実 特別活動・その他